

令和7年度 大学地域連携活動支援事業
成果報告会

景観遺産の継承に向けた 「県産材再利用アーカイブ化」 プロジェクト

宇都宮共和大学 シティライフ学部

3年 菊地 悠統・佐藤 琉乃葉

指導教員 三浦 魁斗



報告の流れ

活動の背景と目的

活動の方法と結果

- ▶ 大谷石の古材を再利用して製作したピザ窯を用いたイベント
- ▶ 大谷石の古材の再利用に関するアイデアワークショップ

今後の展望

まとめ

県産材アーカイブ化プロジェクトとは？

課題

建物の老朽化や市街地再編に伴って大谷石による景観が失われつつある中、地域景観の継承に資する「再利用を介した県産材の地域内循環」に関する知見が不十分

どういう
ことだろう？

主旨

大谷石が再利用された事例の調査・記録・共有の仕組みを構築することで、景観遺産の継承に向けた県産材再利用のアーカイブ化を行うもの



簡潔に説明すると ...

大谷石の景観が建物と一緒に失われるのはどうなの？
でも、どのように再利用すればいいか、知識もヒントも
足りない...

そこで、再利用してきたものを記録し、次世代に
調査・記録を残していき地域の資源を残そう！！



中間報告会以降の活動の内容

「再利用する大谷石の使い道をどうするか」→ここが悩みのタネ
そこでわたしたちが調査している過程で考えた案が

動(イベント) & 知(ワークショップ)

というものです。

動のイベント＝「食」

なぜ食なのか

大谷石特有の「加工のしやすさ」「耐火・蓄熱性」を考慮

では、肝心の料理は？

私達は「ピザ窯」というものに着目し、活動を進めました。

はじめに、ピザ窯制作を開始しました。

大谷石による「ピザ窯」の組み立て

【試作工程】



①土台の構築



②側壁の組み立て



③天井の組み立て

「ピザ窯」を用いたイベントの実装

☆ 宇都宮共和大学における文化祭「すみれ祭」の前夜祭で利用

日時 | 10月25日 (土)

☆ 築瀬小学校における「築瀬地区文化祭」で利用

日時 | 11月01日 (土)

☆ 宇都宮短期大学付属中学・高校における「クリスマスコンサート」で利用

日時 | 12月19日 (火)



ピザ窯への古材再利用に関する気付き

大谷石は耐火性に優れているが、何度も使用はできない

理由としては...

新品同様の大谷石の場合 = 長く使用できる

再利用・長年のものだと = その分劣化も早い

※実際に小学校での使用含め3～5回ほど使用した結果です。

！使い切りもしくは何度も石の移動による摩耗等を減らすことでもっと長く使用できるかも？

知(ワークショップ)の活動

ワークショップでは大谷石について深く知るために
グループワークでの活動

・古材の大谷石を使った新たなデザイン・イベント案

・大谷町の地図を書く

等の活動をしました。

ワークショップの
チラシ

カタチを変えて、記憶をつなぐワークショップ

コザイノカタチ ～大谷石～

デザイン・再利用・まちづくりの視点から「大谷石」のリデザインを考える全3回のワークショップ

今回 (Day 3) は…

「語る石」を つくるとしたら？

2026. 01. 24 (土) 10:30 ~ 12:00
大谷コネクト (宇都宮市 大谷町 1271)

イベントの詳細・
お申し込みはこちらから
<https://forms.gle/huJ5SnA5yHCRADY>

対象 宇都宮市民の方
市内通勤・通学者の方
市内事業者の方

参加費 無料

定員 30名程度 (先着順)



スケジュール

回	日時	会場	テーマ
Day 1	2025年 09月	大谷コネクト	まちに3週間だけ 現れる石の使い方は？
Day 2	2025年 12月	宇都宮共和国 シティキャンパス	このサイズの石で できることは？
Day 3	2026年 1月	大谷コネクト	「語る石」を つくるとしたら？

■ご希望の回のみのご参加も
もちろん可能です！
■ドリンク / お菓子 / お土産を
ご用意してお待ちして
おります！



主催 宇都宮共和大学・宇都宮デザイン・まちづくり研究会
協力 宇都宮共和大学・宇都宮市・宇都宮市観光協会

問合せ先 宇都宮共和大学 三浦 魁斗 専任講師
E-mail: k-miura@kyowa-u.ac.jp

知(ワークショップ)の活動

☆ #1 まちに3週間だけ現れる石の使い方は？

日時 | 09月21日(日) 会場 | 大谷コネクト

☆ #2 このサイズの石でできることは？

日時 | 12月17日(水) 会場 | 宇都宮共和大学シティキャンパス

☆ #3 「語る石」をつくるとしたら？

日時 | 01月24日(土) 会場 | 大谷コネクト

知(ワークショップ)の活動



実際のイベントによる感想

良かった点

- グループワークにより地域に残る石材について考えることができた
- とても興味深いイベント案など新しい視点を確保できた。

改善する点

- 一回きりのイベントだったので複数回やることでさらに理解を深める。

今後の展望

1. アーカイブの運用
2. 食を軸とした活用の定着
3. 循環型のコミュニティの形成
4. 先進的に取組んでいる地域団体に視察（長野県諏訪市）

今後の展望の詳細

1 アーカイブ運用

ワークショップやイベントで得られた知識・ヒントをもとに
誰でもアクセスできるプラットフォームの運用

2 食を軸とした活用の定着

今回はピザ窯メインだったが、新たな飲食に導入しやすい
環境づくり

3 循環型コミュニティの形成

石を「譲りたい人」と「使いたい人」を繋ぐネットワークの構築

建物やその他に使用されている大谷石が捨てられず再利用される
仕組みを定着させる取り組み

4 視察

長野県の「リビルディングセンター」を視察し、建築廃棄物を
「資源」としてレスキューし循環させる仕組みを学び、単なる
リサイクルに留まらず、カフェを併設し一般消費者が日常的に古材に
触れカフェを通じたコミュニティ形成でファンを増やす実態を見学

まとめ

- ❖ 「動」によるイベントや「知」によるワークショップの活動により、大谷石に関するきっかけを作ることができました。
- ❖ そして大谷石に限らずその他の景観継承には「守る」ではなく、現代のライフスタイルに合わせた「使い続ける仕組み」が必要だと感じました。
- ❖ そして、先程の展望についてやその他の仕組みを実現できるように行動・考察をしていこうと感じました。

報告は以上です
ご清聴ありがとうございました